

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第3回保倉区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【協議事項】

- ・地域の課題について（公開）

## 3 開催日時

令和4年7月20日（水）午後6時00分から午後7時15分

## 4 開催場所

上越市立保倉地区公民館 研修室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 丸山隆夫（会長）、池田つえ子（副会長）、今井二三夫、梅澤恭子、  
荻原輝義、河瀬青志、佐野 宏、山本 均（欠席者4名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長、千田主任

## 8 発言の内容

### 【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【丸山会長】

- ・挨拶
  - ・会議録の確認：山本委員、池田副会長に依頼
- 議題【協議事項】地域の課題について、事務局へ説明を求める。

### 【千田主任】

- ・資料No.1「保倉地区公民館について」に基づき説明

本日は、今後の進め方について、今ほど示した案の他に追加の案を出していただきながら、協議いただきたい。

**【丸山会長】**

事務局の説明に対し、質疑を求める。

**【河瀬委員】**

過去5年間、町内会長連絡協議会で要望書を出しているということだが、今までどのような出し方をされたのか具体的にお聞きしたい。事例として三郷の資料があるが、このような突っ込んだ要望書なのか。内容がどういったものかによって、うちの地域協議会で出すにしても、もう少し突っ込むなら突っ込むで、過去にどういった形で出されているのか教えていただきたい。

**【千田主任】**

町内会長連絡協議会の会長から、令和3年度の要望書の写しを提供していただいている。この後、皆さんに回覧するが、地域の公民館のほかにも保倉地区としていろいろ要望があり、その中の一つとして、資料に上げたこの項目で出されている。

**【河瀬委員】**

前の年の事を踏まえて、インパクトのあるような文書なのか。毎回、同じようなものではインパクトに欠けると思う。

**【千田主任】**

公民館の部分に関しては、記載した項目での要望となっていた。内容としては、(1)で公民館前の植え込みの撤去、車寄せの設置、(2)旧公民館の取り壊しと駐車場の整備という項目のみで要望されていた。

**【佐野宏委員】**

私が町内会長連絡協議会の役員をしていた当時の話だが、要望書を持って市役所へ行き、市の担当者に直接話をした。文書にすると2、3行であるが、当時私たち役員は市の担当者に細かく説明してお願いしていた。基本的には、公民館の入り口をロータリーにしてほしいという話をした。車が玄関まで入れるようにロータリーにしてほしいとお願いしたが、市の回答は費用がかかるため、すぐに対応できないというものであった。すぐに対応できないのであれば、夜、帰る時に暗くなるので、街灯の位置を少し変えてほしいと要望した。それであれば、すぐに対応できるとのことだった。つまり先立つものが、お金だった。当時、要望書は市に500件以上集まっていた。要望が実施される

までに短くて8年、ほとんどの場合は10年かかる。今、公民館についての要望は5年目なので半分である。要望書を出したからすぐ通るというものではないし、それはずっと続けていかないとなかなか地域はよくなる。そこで、聞きたいのは、仮に地域協議会で要望を出したら、町内会長連絡協議会が要望し、5年が過ぎたものが、1～3年以内で実現できるかどうか。そういう確約を事務局でとってもらえるか。これから10年もかかって、この要望が通ったとしても、10年後に皆さん今度は車椅子で入ってくる時に助かるが、どうだろうかという思いもある。

確認だが、今事務局の説明で、保倉区でどうするかという話をしているが、これは元氣事業としてやるのか、地域の課題としてやるのか。その辺の線引きはどうなのか。

**【千田主任】**

こちらだと市に要望するものが主となるので、市へ要望する意見書になる。

**【佐野宏委員】**

意見書だけ出して10年間待つのかということである。10年というとスパンが長く、地域が活性化するために本当に効果があるのかないのか。今まで、地域活動支援事業があったが、今年度で終了する。地域が元気に活動できたのは、小さい活動の積み重ねである。例えば、春の花苗の植栽活動から始まり、体育大会、ラジオ体操、綱引きと、地域はそこで一つにまとまって1年間を過ごしている。公民館を改善しましょうと言って、スロープを作ったら、それで終わりである。それで地域が本当に良くなるのか。つまり、上越市が元気になるって住み良くするためにはどうするかが前提になっているのであれば、大きな一つのをやるよりも、小さい積み重ねのもので、1年間それなりに地域が一生懸命活動できるもののほうがよいのではないか。

他の地区で三郷公民館は古い公民館だから、意見書を出しても良いと思うが、公民館の整備などは優先順位が絡むと、要望をしてもどうしても後回しになってしまう。私が思うにこういう関係は、市がきちんと工程表を作り、この件については3年後、5年後といったキャッチボールができるものでないと話しをしても一方通行である。事務局の力で情報収集していただければと思う。

**【中村センター長】**

地域協議会で意見書を出すことによって、過去5年ほど要望しているものの優先順位が上がるかどうかは約束できない。担当課も、多くの施設を抱えている中で、優先順位などを判断し、次年度の予算を要求していくが、まだ、保倉地区公民館については、ス

ロープや除却については、他の公民館との比較の中では、予算が付かないという判断だと思われる。

ただ、町内会長だけでなく、地域協議会からも意見書が出たということになれば、三郷公民館の資料の最後にもあるが、意見書が出されれば、市としては回答を出すという形になる。また、今まで保倉区は、地域活動支援事業で510万円の配分があった。令和4年度は経過措置でもう1年地域活動支援事業が延長になったが、この意見書や元気事業は、510万円を確保するものではない。地域に課題があって、その課題を市と地域とそれぞれ役割を持って、課題の解決に当たりたいということであれば、元気事業を使っただけであればいいし、市だけをお願いするような課題であれば、意見書で公民館の修繕、除却について要望していくという形になる。必ずしもこの9月までに出さないから、もらい不足だとか、510万円を浮かせてしまったというものではない。地域活動支援事業とは別に考えていただくというものである。毎年行われていた植栽などは、心の安らぎ、高齢者の生きがい、美化活動ということで他の区でもやっている。地域の課題解決には繋がるというものではないが、地道に必要な事業だと思っている。

#### 【佐野宏委員】

地域活動支援事業の活動で、体育大会等の事業がコロナ禍で丸2年以上活動していない。そうすると、引き継ぐ人がいなくなってしまう。町内でもそうだと思う。町内会長の業務もいろいろあるが、コロナだから集まれない。例えば、保倉小学校で毎年、体育大会をしていたが、先生方の人事異動で、今知っている先生は全くいない。PTAの役員も早く交代するため、知っている人はゼロである。では、町内会長はどうか。町内会長で事業の段取りを知っているのは1人だけである。つまり保倉区だけではなく、各地域の活動がコロナ禍で止まってしまった。植栽や体育大会などの事業の継続について、真剣に考え、保倉区だけではなく全地域で強力に推し進めて話していただき、その中で予算が絡んでくるとしたら、きちんと話してもらえばよい。

ただ、来年もコロナで事業が中止となれば、もう経験者がいなくなる。そして、確実に年をとるので、すべての行事において、知っている人は減ってどうしても若手に伝わらない。だから、ここをもう少し真剣に考えないと「地域を元気にしましょう」と言ってもそれは無理である。元気にするにはどうしたらいいのか。そこを根底から考えないとなかなか前に進まないと思う。

#### 【荻原委員】

今ほど佐野宏委員が言われた話がメインのような気がする。先回、理解していなかった部分もあるが、いきなり箱物の話が出てきた。公民館を修繕するのはよいが、10年も経って、公民館を利用するかと問われると疑問である。実際、我々も車椅子に乗ったら、福祉施設のほうへ行くようになると思う。地域が元気になるにはどうしたらよいか、前に4つの提案に絞ったが、それに学校区の話を加えてもよいのではないかとは思っている。

「子どもは地域の宝」という看板が保倉区にあるが、それが原点のような気がする。学校区を見直し、頸城区の一部を保倉小学校区にしてはどうかという話があった。それを話し合ってもよいのではないかと思っている。ただ、政治的な決着をみるのは間違いない。地元は抵抗するに決まっているし、単年度で終わる話ではないため、協議を積み重ねて継続していく方法でもよいと思う。地域協議会で話し合うテーマを一つに絞らず、幾つも上げてよいのではないか。この地域は米しかないから、元気を出すには大きな生産組織を保倉区で作って、みんなで助け合ったら元気が出ると思っている。公民館を修繕するのはよいが、結果的に将来、公民館に来るか。先ほど言われた年数もある。言った人が来られなくなってしまうかもしれない時代がくる。その辺がどうしたらよいのかと思う。私は、これからの子どもたちのために、元気が出せるようなものが欲しい。すぐではなくても、結論がなくても継続していけば何とかなるという考えである。

#### 【今井委員】

今後の進め方で、③の車椅子を使用している人が公民館を利用できなかったことが何件あるのか、とある。私たちも地域の行事がなければ、公民館を使うことはないのに、わざわざお金をかけても、車椅子を使用している人がここへ来る確率はほとんどないと思う。私が病気になり、車椅子を使うことになっても公民館には来ない。ほとんどの人がそうだと思うから、これは無駄ではないか。福祉車両と一緒に、高価な車を入れたが、維持も大変だ、何も使用していないということにならないか。スロープを作っても使用者がゼロでは金の無駄遣いだと思う。私は、あまり賛成できない。

#### 【佐野宏委員】

私が町内会長だった当時に出した要望は、玄関前に車で乗ってこられるようにしてほしいという提案だった。荻原委員の意見に私も同調して考えたのだが、今、保倉小学校の児童数は80人程である。児童数がどんどん減少していき、合併という話になると、この辺の児童は元気がなくなってしまう。何で児童が増えないのかというと、一つは流出しているからであり、1つは、上越教育大学附属小学校へ進学する児童もいる。

当初は水害の際に、望ヶ丘団地、美しが丘団地の住民は川を越えて頸城区の避難所に避難しなければならなかったが、それでは問題があるとのことで保倉小学校へ避難してもよいことになった。3年ほど前に避難所を開設した際、避難してきた方は、望ヶ丘団地と美しが丘団地の人たちだった。あそこに住んでいる人たちは、わざわざ大養小学校や、頸城中学校に通うより、保倉小学校のほうが通いやすいのではないか。美しが丘団地が造成された際、居住したいという人は、上越市に住みたいが、当時は頸城村であった。頸城村だと行政が違う。だから、一時期、美しが丘団地は売れなかった。合併して上越市となったが、行政が絡むものでは、頸城区になってしまう。行政区、学校区の括りをなくし、教育委員会、頸城区地域協議会、保倉区地域協議会、頸城区町内会長協議会、保倉地区町内会長連絡協議会と合同で話をし、小学校関係で手が打てるかどうか保倉小学校の生徒を増やす最良の方法だと思う。保倉から他のところの小学校へ行く人も減るかもしれない。そうしないと、あとはもう減るばかりである。魅力がないから、他へ行ってしまうのだと思う。だから、こういった提案は、逆にこういうことができるかどうかを含めて、皆さんで検討していただければと思う。

#### 【山本委員】

資料の内容でいくと、公民館の改修はいつになったらできるのか、今ここで話をしても先がわからない。町内会長連絡協議会の提案内容を見ると、私の提案した内容もかなり前から要望している。しかし、実現はいつになるかわからない。ここで一生懸命に話をしても、先の見えない話をするのではないと思ってしまう。市の中でも調整できない話である。担当がそれぞれ違う。そこで答えが出てこない。そういうことであれば、できるだけ現実味を帯びた、実行性のある事業を目指したほうがよいと思う。

#### 【河瀬委員】

過去5年間、町内会長連絡協議会で要望しているが、前日も町内会長を呼んで、1回話したらどうかという話が出たと思う。丸山会長と保倉地区町内会長連絡協議会で「こういった話が出たがどうしたらいいか」と話をしてはどうか。せつかく5年間、町内会長連絡協議会で要望をあげているので、引き続き要望しないと過去5年間が無駄になる。佐野宏委員がおっしゃるとおり、これを実現するには10年以上かかると思う。しかし、ここで頓挫すると進まないと思う。先ほど、スロープを作って、車椅子が乗り降りできるようにしても人が来るかという、それも疑問である。いずれにしても、この状況ではなかなか人が来られないので、やはり「継続は力なり」ではないが、要望を続けたほ

うがよいと思う。その中で、町内会長連絡協議会のほうで、地域協議会を含めてタイアップしてやろうということであれば、私たちがでる場面もあると思う。1回、町内会長連絡協議会とすり合わせが必要ではないか。地域協議会としてどうすればよいのか、なかなか意見が出ないと思う。

学校区の件は私も大賛成である。望ヶ丘団地と美しが丘団地の中学生が頸城中学校に登校するのと保倉区の子どもが直江津東中学校に登校するのが交差しているのを見ると、不自然さを感じる。小学校も保倉小学校のほうが近いし、中学校にしても直江津東中学校のほうが近い。安全性から見ても、利便性があるのではないかと思う。保倉区だけでは解決できないので、頸城区とすり合わせをしながら進めていったほうがよいのではないかと思う。

#### 【池田副会長】

車椅子を使用している方のためにスロープをという話が出ているが、各町内で社会福祉協議会の方と一緒に、健康体操教室とかオレンジサポートなどを行っていると思う。そういうところに来る方は、70代後半から80代前半の方で、デイサービスに行かなくても、家にいられるような方が、筋力を伸ばしたり、足を伸ばしたりするという意味合いでつくられたと思うが、現実はずいの町内もそういう方はほとんど出てきていない。本当に具合が悪くなればデイサービスに行くし、自分で自覚症状があれば出てこない。町内会館自体はそんな高いところに建ってはいないので、車椅子を使用していなくても出て来られない状態で、公民館にスロープが作られれば、出て来られるかと言われれば、確かに疑問だが、今度私たちが年齢的そういう立場になっていくと思う。実際、私たちが公民館を利用して、その時になっても来られれば続けていきたいと思う。頭の体操のためにも、自分で杖をついてでも上がって来られる環境であってほしいと思うので、実際の来る、来ないは別にして、公民館の修繕について、5年間かけてここまで積み上げて来ているので、今後も要望事項として入れていってほしい。

地域を元気にするというところで、いろいろ案は出ているが、小学校区は確かに目に見えている問題だと思う。子どもはある年数が経つと、小学校を卒業して、中学校、高校と行かれる。実際に望ヶ丘団地、美しが丘団地にどのくらいの子どもがいるか知らないが、今いらっしゃるのであれば、できるだけそういう方向で進められればよいと思う。そういう話について、どういう手順を踏んでいけば良いのか。皆さんが言われたみたいに、保倉区だけの問題ではない。頸城区などと話し合う機会を作っていただくにも、町

内会長連絡協議会の皆さんとの話は必要だろうと思う。やっぱり皆さんから意見を言っていたかないと、方向がなかなか決まらないと思う。

**【梅澤委員】**

地域協議会の立ち位置というのがよくわからなくて、どこまで発言してよいのか迷っている。皆さんの発言を聞きながら、勉強させていただいている。地域の元気ということになると、子どもの懸案に少し力を入れていけるような方向で進めていけたらと思う。政治的な絡みとか教育関係はなかなか難しいようだが、やり始めたら必ず終わりが来るので、諦めずに、その辺を優先的に考えて、実行できたらよいと思っている。

**【佐野宏委員】**

美しが丘団地と望ヶ丘団地の小学生と中学生の今現在の人数を調べてほしい。もし、少なくてほとんどいないのであれば、合併しても保倉小学校の存続にはつながらない。

**【丸山会長】**

公民館の件について、地域協議会も近寄ろうという形で賛同していったらどうか。今までの町内会長連絡協議会の苦勞を少しでも保倉区地域協議会で後押し出来ればと思う。

**【荻原委員】**

要望は要望として進めてもよいのかもしれないが、スロープ以外にも修繕してもらいたい所はある。

**【丸山会長】**

保倉区としては、公民館のことに関して、地域協議会の皆さんで進めるという形を取りたい。

**【中村センター長】**

自主的審議事項とするのだが、公民館のことを今後も保倉区地域協議会として公民館の改善を目指して審議を進めていくということであれば、自主的審議事項と定めていただくことが必要かと思う。ただ、今言われた中で、学校区や、子供の安全安心、高齢者の移手段など、いろいろな課題がある中で、公民館のことを自主的審議事項にするのは、少し性急かもしれない。事務局としては、例えば、町内会長連絡協議会の皆さんと正副会長レベルで、町内会長連絡協議会の要望事項について、町内会長のほうでどう考えているのか。例えば、保倉区地域協議会として協力できること、地域協議会で揉むことで少し改善するようなこと、地域協議会として状況を把握していたほうがよいようなことを、意見交換してみてもどうかと思っている。その中で、結果を踏まえて、地域協

議会で本当に地域の課題として、どう練っていくかを昨年度まで出された11のテーマ、そこから以前、4つに絞ったが、登下校の安全、移動手段、地域の良いところを伸ばす、公民館の改修の中から、どれにスポットを当てて焦点を絞っていくかというような方法で進めてもよいかと思う。

**【河瀬委員】**

町内会長連絡協議会で要望をあげているので、保倉区地域協議会として審議する前に町内会長連絡協議会と1回すり合わせをしたほうが望ましいと思う。協議をしていくにしても、方向性を定めた中で足並みが揃わないと市に意見書を出してもなかなか難しいと思う。全員集まるのはなかなか大変なので、丸山会長と保倉地区町内会長連絡協議会の方ですり合わせるのが望ましいと思う。それから、自主的審議事項に取り上げるかどうかを判断しても遅くはないのではないかと。

**【中村センター長】**

事務局としては、先ほどは1年前と同じように正副会長の打合せと言ったが、例えば、保倉地区町内会長連絡協議会の全員で打合せというのも方法だと思う。その辺りも皆さんで協議して決めていただければと思う。

**【荻原委員】**

私は、全員がよいと思う。正副会長のみとなると責任もあるし、全員であれば全体になるし、そのための保倉区地域協議会という名前なので、参加できる方は多くいたほうがよいと思う。町内会長のほうもいろいろな意見を聞くためには、大勢いたほうがよいと思う。

**【河瀬委員】**

やり方はお任せするが、1回すり合わせたほうがよいと思う。

**【丸山会長】**

保倉区地域協議会の皆さんと、保倉地区町内会長連絡協議会の皆さんで協議をさせていただく方向で進めたいと思う。

**【佐野宏委員】**

事務局に伺いたいのだが、自主的審議の件数は何件でもよいのか。審議が終わったら、その後はどうなるのか。来年はどうなるのか。

**【千田主任】**

自主的審議の件数は何件あってもよい。他の区でも何件か上げていて、順番に協議し

ている区もある。自主的審議事項は協議をして、いろいろな方法で解決して、終わったら、また次の課題を協議していくという形になる。

**【佐野宏委員】**

来年はどうなるのか。来年は地域活動支援事業はない。ずっと決まるか決まらないような会議を1年かけてやるのか。そのスケジュールはどうなっているのか。

**【中村センター長】**

自主的審議について、結論や解決策が出た時点でまた次の課題に移っていただくという形になろうかと思う。今申し上げたとおり、1件だけに集中しなくても、数件並行して協議していただいているという場合もある。一つ解決すれば、残りの何件かをやっていただく等、いろいろなケースになろうかと思う。地域のいろいろな問題について地域で考えていくということが地域協議会の役割になるということをお願いしている。

**【丸山会長】**

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

**【千田主任】**

保倉地区町内会長連絡協議会との打合せという話があったので、会長と相談し、日程調整をさせていただきたい。日程が決まり次第皆さんに案内を送付させていただく。

**【丸山会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。